

図書館だより



環境デザイン学科 3回生 今川 昇

**新書・文庫がより充実！
「新書・文庫コーナー」を設置**

I N D E X

目次

- 図書館雑感 2・3
- コレクションの紹介 3
- 図書館スタッフが選ぶ「今、話題になっている本」 4
- 最近入った図書の一部紹介 / 「新書・文庫コーナー」を設置！ 5
- インターネットで検索しよう！ 6
- 卒業生アンケートの意見・要望について (Q&A) 7
- 総合図書館インフォメーション 8

■学生時代の読書－作家・福永武彦との出会い－

総合図書館委員 藤永 壯

大学生のころに読んだ本－とくに小説の話をするのは恥ずかしい。それは過去の自分の未熟さを告白するに等しいからだ。読書の楽しみ方に決りごとなどないが、学生時代に耽読した小説は、どこかでその登場人物に、自分の姿を重ね合わせていたような気がする。だから厄介なことに、恥ずかしい思い出は、懐かしい思い出でもあるのだ。

大学3回生のとき、私は突然、激しい貧血に襲われた。十二指腸潰瘍による出血が原因だった。親元を離れての不規則な一人暮らしがたたったのだろう。郷里に帰って入院し、潰瘍の手術は無事終わったが、今度は輸血が原因で血清肝炎にかかってしまった。私は21歳のひと夏を、ほとんど病院のベッドで過ごすことになった。

外泊許可が下りたとき、入院生活の退屈しのぎに本でも買い込もうと街の書店に立ち寄った。そこでふと目にとまったのが『愛の試み』という文庫本だった。福永武彦というそれまで名前を知らなかった作家のエッセー集である。ガールフレンドは欲しいなと思いつつも、作家の恋愛論など全く興味のなかった私だが、どういうわけか、その本は買って読もうという気になった。病院に戻りベッドに横たわって、ぼらぼらと捨読みをしていたら、はっとするような一節に出会った。愛とは「相手の孤独を所有する試みなのである」。

入院生活のおかげで、私は孤独感に苛まれていたのだと気づかされた瞬間だった。いやひょっとしたら、入院する前から、実は私は孤独であったのかも知れない。そうか、人間の本質は「孤独」なのだ。だからその孤独を所有しようとする愛が尊ばれるのだ。

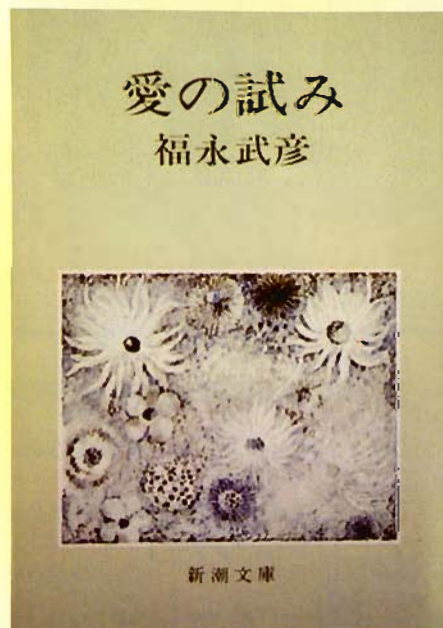
その後、私はむさぼるように福永の作品を読み続けた。『忘却の河』『死の島』『海市』……。案の定、彼の描くテーマは、一貫して「孤独」と「愛」だった。

「私はね、時々こういう埒もないことを考えるんです。人生というのは、地面に穴を掘って、そしてそれを埋めることじゃないかってね。若い時には、一心不乱に、

目的も何も分からずに、せっせと掘っていく、自分の廻りに掘った土が堆く積み重なる。そして何処からか、何時からか、今度はその土を穴の中に投げ込んでそれを埋めて行く。……そして結局は初めと同じです。平坦な地面があるばかりだ。……その平坦な地面の上を風が吹き渡って、人間のした仕事なんてものはみんな忘れられてしまうのです。」（『退屈な少年』）

福永のこの文章を初めて読んだころ、私はまさしく穴を掘りはじめようとしていた。齢40歳を過ぎた今はどうなんだろう。まだ穴を掘っているのか、それともすでに穴を埋めはじめたのか。こんな感傷にひたるのは、われながらとても恥ずかしいのだが、学生時代の読書とは、どうやらこうした恥ずかしくて懐かしい思い出に、私たちを導いてくれる存在らしい。

（人間環境学部）



推薦図書

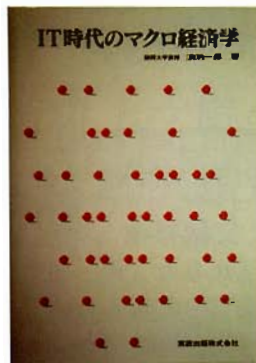
総合図書館委員 上野 達雄

情報革命により大学教育は大きく変わりつつある。大学施設そのものが情報化され、学内ネットワークの構築とその拡大は日進月歩である。そのなかで、教育システムも必然的に変化し、CYBER SPACEを使ったIT大学も現実のものとなっている。その教育の手段は、インターネットを利用したものである。そこで、ここでは、この時代に遅れないようにするためのテキストを紹介することにする。

1 『IT時代のマクロ経済学』（浅利一郎著、実教出版）

大学における標準的なテキストとして書かれているが、従来のテキストと比べて違うところはインターネットを使って実践的にマクロ経済を学べる点である。

例えば、日本経済のマクロ経済データをインターネットで収集し、現実の経済のパフォーマンスを明らかにし理論の妥当性を検討できることである。このように、いろいろな理論を抽象的に学ぶのではなく具体的な数値を使ってシュミレーションしながら学習できることから、経済を理解しやすくなる。



2 『インターネットで日本経済入門』

（新田、渋谷、日本評論社）

本書では、日本経済を戦後の成長過程、国際関係、21世紀への展望と3つに分け日本経済の構造変化を歴史的に理解できるような構成になっている。

基本的な解説と簡単な例示があるだけで、それ以上の具体的なデータや関連するテーマの検索は、テキストを学ぶ者に委ねられている。このテキストは、あくまで学習の水先案内人で主体的に学習するのは読者自身である。



3 『電子政府（e-GOV）の白書』

(http://www.e-gov.go.jp/link/white_papers.html)

現在政府は、電子政府を構築しつつある。その中には住民基本台帳ネットのように意見の分かれるものもあるが、政府の発行する白書が情報の宝庫であることは、衆目の一致するところである。経済関係で言えば経済白書、労働経済白書、通信白書、金融庁白書、通商白書などがあげられ、インターネットを通じて簡単に読むことができる。

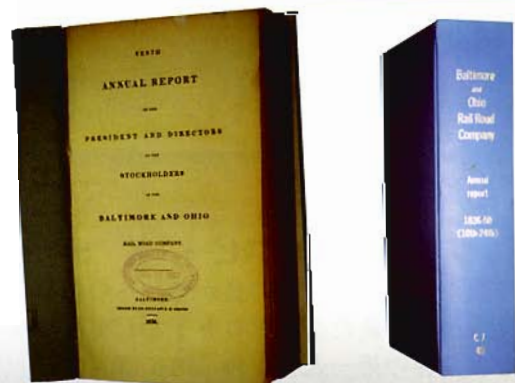
（経済学部）

コレクションの紹介

「アメリカ鉄道会社年次企業報告書」

本学図書館が全国的に誇れる交通関係の資料の1つに「アメリカ鉄道会社年次企業報告書」があります。これは、もとアメリカ土木学会が所蔵していたもので、アメリカ鉄道関係の経営史、会計史、鉄道史、交通史を研究する場合は必ず必要な参考文献となっています。

なお、この資料を直接利用するために、毎年他大学から数名の訪問があります。



図書館スタッフが選ぶ「今、話題になっている本」

図書館スタッフが独断と偏見で選んだ、今注目されている本、読みごたえのある本を6点紹介します。

『海辺のカフカ 上・下』

(請求記号 913.6/474)

村上 春樹 著 出版者：新潮社

15歳の誕生日、少年は家を出た。一方、ネコ探しの老人・ナカタさんも、西へ向かう。暴力と喪失の影を抜け、世界と世界が結び合うはずの場所を求めて―。



『マサイの恋人』

(請求記号 946/2)

コリンヌ・ホフマン 著 出版社：講談社

スイスからケニアへ。運命の人に出会った女は、すべてを捨てて恋に走った。そして愛と哀しみに彩られた冒険の日々が始まった……。国境を越え、文化や言葉の壁を越え、育まれた奇跡の純愛。冒険・恋愛の好きな方。おすすめです。



『生きる』

(請求記号 913.6/473)

乙川 優三郎 著 出版社：文藝春秋

瀕衰亡を防ぐため、家老から追腹を禁ぜられた又右衛門。跡取りの切腹、身内や家中の非難の中、ただひたすらに生きた12年を問う。苦境に人の心を支えるものとは？



『パーク・ライフ』

(請求記号 913.6/472)

吉田 修一 著 出版社：文藝春秋

停車してしまった日比谷線の中で、間違っって話しかけた見知らぬ女性。知り合いのふりをしてくれた彼女は同じ駅で降り……。東京のど真ん中「日比谷公園」を舞台に男と女の「今」をリアルに描く、第127回芥川賞受賞作。



『日本人と中国人』

(請求記号 361.67/1)

汪洋 著 出版社：彩流社

中国で20年、日本で20年生活した著者によるユニークな日本人論・中国人論。「異文化コミュニケーション」をキーワードに、日常生活の出来事や社会風俗について、中国・日本の文化を比較しながら自らの体験を語りお互いの国の理解を深める一冊です。



『文化経済学入門』

(請求記号 331/401)

ディヴィッド・スロスビー 著 出版社：日本経済新聞社

「モノの豊かさ」から「心の豊かさ」への転換が求められる今、都市再生や新産業創出への新たなアプローチとして注目を集める「文化経済学」の考え方を、斯界の第一人者が体系的に解説する。



最近入った図書の一部紹介

下記の図書がすでに貸出されている場合、予約ができます。カウンターで手続きすればその図書が返却されたとき、優先して借りられます。

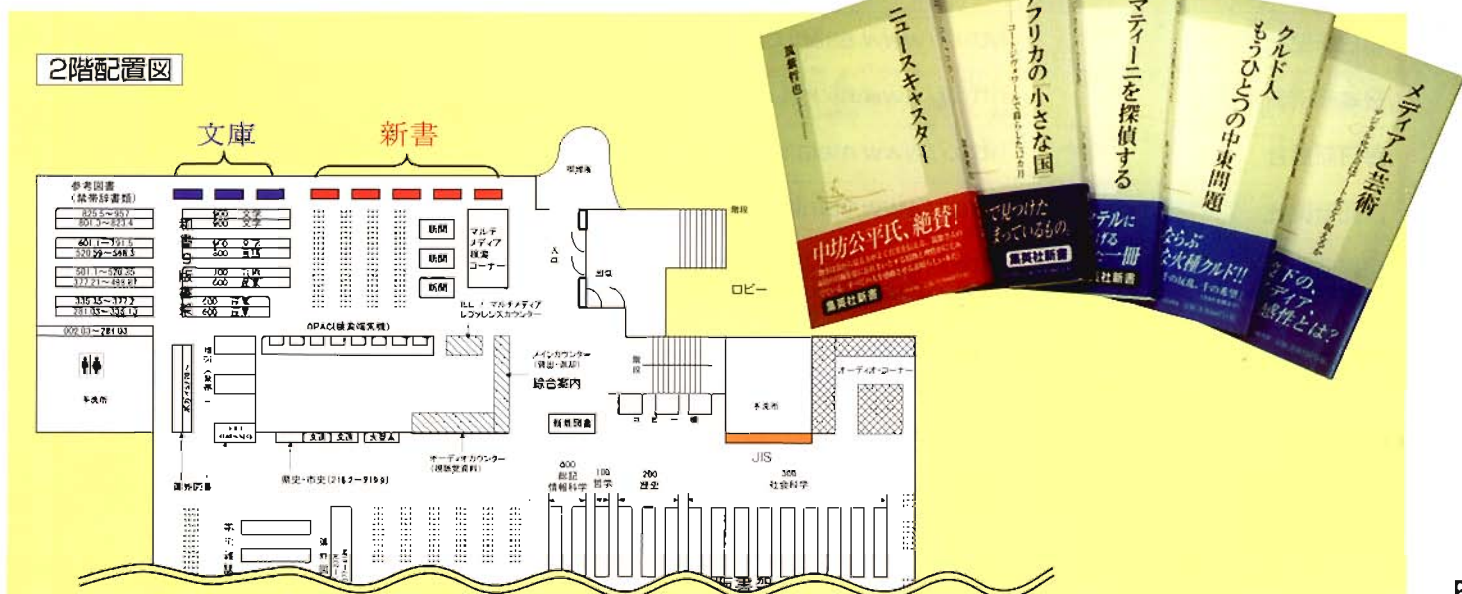
書名	編著者名	請求番号
考える力をつけるための「読む」技術	妹尾堅一郎著	002.7/9
朝鮮通信使がみた日本	妻在彦著	210.5/41
スポーツ	有賀郁敏他著	230.6/9
環境を平和学する！	戸崎純・横山正樹編	319.8/95
女性起業家	山崎康弘取材・文	335.13/143
財務・会計	J・L・リビングストーン編著	336.8/92
韓国の会計基準	中央青山監査法人・三逸会計法人編	336.92/174
「話し合い」の技術	ウィリアム・L・ユーリ他著	361.3/29
あなたはどれだけ待てますか	ロバート・レヴィーン著	361.5/119
安住しない私たちの文化	姜信子著	361.5/122
日本料理文化史	熊倉功夫著	383.81/6
失われた手仕事の思想	塩野米松著	384.38/1
ブラック・プロパガンダ	山本武利著	391.3/5
化学と物理の基礎の基礎がよくわかる本	飯出良朗著	430/56
生命とは何か 新版	丸山敬著	464.1/6
日本社会史における伝統と創造	トマス・C・スミス著	509.21/28
地球環境新時代	石澤清史・松田美夜子著	519/926
環境経済学入門	パリー・C・フィールド著	519/927
日本の家	中川武著	521.86/15
インテリアデザイン教育の現場	内井乃生著	529.07/1
電子署名・認証	渡邊新矢・小林寛・高橋美智留著	670/39
車社会はどう変わるか	国際交通安全学会編	685.04/2
コリアン・ミステリ	金聖鐘他作	929.13/3
ゴッホ殺人事件(上・下)	高橋克彦著	ボガイ/5984/5985

「新書・文庫コーナー」を設置！

今まで新書・文庫本は、簿外書架に排架をしていましたが、新書・文庫本をより充実するために新しく2階北側に「新書・文庫」コーナーを設置しました！

新書・文庫本には、岩波、中央公論、講談社現代新書、ちくま、PHP、集英社、平凡社、丸善ライブラリーなど幅広く出版されています。

このコーナーを利用することでより知性と教養を高めようではないでしょうか！



インターネットで検索しよう！ 図書館の使い方シリーズ⑧

今回は、さまざまな情報を提供しているホームページを紹介します。

総合図書館でインターネット検索する場合は、2階マルチメディアコーナーをご利用ください。

☆☆学内の所蔵を調べるには☆☆

大阪産業大学総合図書館	http://www.osaka-sandai.ac.jp/tosho	本学図書館のホームページ。本学蔵書約37万冊のOPAC検索も可能。
-------------	---------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------

☆☆本学以外の図書館の所蔵を調べるには☆☆

NACSIS - Webcat	http://webcat.nii.ac.jp/webcat.html	全国の大学図書館が所蔵する図書・雑誌の総合目録データベースの検索が可能。
国立国会図書館	http://www.ndl.go.jp	NDL・OPACでは国立国会図書館が所蔵する図書（和・洋）、雑誌新聞（和・洋）はもちろん、雑誌記事索引の検索や、電子資料、古典籍資料、博士論文、規格・リポート類、点字・録音図書の検索をおこなうことができる。
The British Library Public Catalogue	http://blpc.bl.uk	The British Library（大英図書館）の目録検索サービス。
世界の図書館	http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/other/other_libs.html	筑波大学附属図書館が提供する各国の図書館へのリンクページ。

☆☆出版流通情報を調べるには☆☆

Books.or.jp	http://www.books.or.jp	2001年12月までに国内で発行された入手可能な書籍(61万点)を収録。2002年1月以降の書籍は各出版社から提供の電子データを収録(前月分データ[既刊分]を反映)。
TRC図書館流通センター	http://www.trc.co.jp	1980年1月以降に出版された日本の新刊書籍の検索が可能。NDC(日本十進分類法)9版の一覧もあり
紀伊屋書店	http://www.kinokuniya.co.jp	各店舗の在庫確認が可能。
ジュンク堂書店	http://www.junkudo.co.jp/index.jsp	新刊書・ベストセラーなど。本の検索が可能。
丸善	http://www.maruzen.co.jp	新刊書・ベストセラーなど。本の検索が可能。
Amazon.com	http://www.amazon.co.jp	代表的なインターネット書店。

☆☆政府関係・統計資料を探すには☆☆

首相官邸	http://www.kantei.go.jp	政府の最新情報を掲載。官公庁のリンクページから各省庁のホームページが閲覧可能。
政府刊行物	http://www.gov-book.or.jp	政府刊行物や官報の目次をキーワードで検索可能。
総務庁統計局統計センター	http://www.stat.go.jp	人口、経済、社会等の基本的統計データが入手可能。

☆☆最新のニュース情報を探すには☆☆

日本新聞協会	http://www.pressnet.or.jp	日本の新聞社・通信各社へのリンクページあり。
共同通信社加盟新聞社	http://www.kyodo.co.jp/kikaku/kameisha.html	日本新聞協会の漏れを防ぐ。
First Paper	http://www.nibh.go.jp/FirstPaper	42カ国、160紙の新聞社へのリンク。
朝日新聞社	http://www.asahi.com	主要新聞社のホームページ。
日本経済新聞社	http://www.nikkei.co.jp	
毎日新聞社	http://www.mainichi.co.jp	
読売新聞社	http://www.yomiuri.co.jp	
産経新聞社	http://www.sankei.co.jp	

☆☆必要とするホームページを探すには☆☆

Yahoo! Japan	http://www.yahoo.co.jp	ディレクトリ型サーチエンジン。テーマによる検索。
goo	http://www.goo.ne.jp	ロボット型サーチエンジン。単語による検索。
google	http://www.google.com	ロボット型サーチエンジン。トップページが軽く、検索も早い。

この他にも、それぞれの分野で役立つサイトがたくさんあります。ぜひ自分で探して、インターネットを活用してください。

卒業生アンケートの意見・要望について (Q&A)

1. 図書館資料について

2002年卒業生アンケート結果から、図書館に対しての要望や意見などをいただきました。その内容を4項目に整理しました。

- (1) **Q**: ・本が古くて役に立たない。(5件)
・最近の本が少ない。蔵書数が少ない。(2件)
・「海外のガイドブック」を増やしてほしい。(2件)

A: 現在年間約12,000冊の図書を受入をし、約370,000冊を所蔵しています。
取書、選書に関しては、「取書方針」に基づき、各学部のバランスを考慮して選書を行っています。特に工学系の学生から「古い本が多い」との意見があり、総合図書館委員会を通じて改善を図りたいと考えています。
また「海外ガイドブック」に関しては、利用者が海外へ行く機会が増え、貸出率も高くなっている状況にあり、定期的に購入をしていますが、今後はより充実させたいと考えます。
なお、希望する図書が図書館にない場合は、「リクエスト(購入希望図書)」、「学生選書モニター」を利用してください。また他大学の図書館を利用することもできます。詳しくは2階レファレンスコーナーで聞いてください。

- (2) **Q**: 本(資料)のある場所がわかりにくい。(5件)

A: 本学図書館では、「日本十進分類法」(NDC)に従って分類し、書架上に配架しています。
館内配置の案内は、OPAC(コンピュータ検索)場所に本(資料)の「配架図」を置いていますので活用してください。わからない場合は、いつでも図書館員に声をかけてください。

2. 施設・設備

- (1) **Q**: 座席及び机(個人机を含む)を増やしてほしい。(11件)

A: 現在館内には909席の座席を設置しています。普段は、十分利用できますが、定期試験期には座席が不足し不便をかけています。
既設の閲覧スペースでは限界があり、今後のリニューアルで改善していきたいと考えます。

- (2) **Q**: 入館ゲートに学生証(カード)を通すのが不便でめんどろ。 (10件)

A: 入館ゲート(入館者チェックシステム)は図書館への入館時に利用資格の有無を確認するため、かつ統計資料を作成するものです。
利用者のトラブルを防ぐ為にもご理解とご協力をお願い致します。

- (3) **Q**: 返却BOXを設置してほしい。(3件)

A: 現在、図書の返却確認のトラブルを防ぐために、窓口(カウンター)で本人が返却手続を行う方法にしています。そのために、返却日が休館日にあたる時は、その翌日を返却日にし、不利益にならないようにしています。
今後は、リニューアル時に設置の検討を考えます。

3. 図書館職員

- (1) **Q**: マナーの悪い学生に対して職員がもっと注意すべきである。(16件)

A: マナーの悪い学生の対応については、威圧的な言葉に十分注意しながら館内を巡回し、指導しています。
特に携帯電話の使用、飲食物の持込み、大声で話すのを禁止し、他の利用に迷惑のかからないようご協力をお願いします。

4. 開館時間・休館日

- (1) **Q**: 開館時間および開館時間を増やしてほしい。(3件)

A: 利用時間は、通常朝9時から20時30分(土曜日は19時20分)までです。今年度の年間開館日数は255日で私立大学の平均的日数であります。
開館時間の延長および開館日の増加については職員数の問題等があります。
今年度から定期試験期間に1時間の延長を実施しています。
今後は、利用時間の延長、開館日の増加を積極的に検討していきたいと考えます。

アンケートの中には、「卒論作成に大変お世話になった」「みんなに親切にしてくれた」「図書館は今のままでいい」「静かな環境がよかった」「調べ物をしている時に相談ののってもらえた」等の意見も15件いただきました。これを励みとし、より一層の充実した対応を心がけたいと思います。

今後もこのアンケートを継続して、図書館機能の質的な充実を図りながら、学生にとって満足のいく対応(サービス)を提供したいと思っています。そのためにも、図書館や図書館資料の利用方法で、なにかわからないことがありましたら、ぜひ気軽に図書館員に声をかけてください。

総合図書館インフォメーション

2002年総合図書館コレクション展について

今年度の展示会は、平成14年5月9日（木曜日）から5月11日（土曜日）までの計3日間開催し、約170名の方々にご越し頂きました。今年度は、昨年度のアンケート結果を考慮し、ルソー著『社会契約論』、オーウェン著『新社会論』など主要コレクションに加え、古地図、各種鉄道関連錦絵及び、福澤諭吉による『學問のすゝめ』他、河内に関連した和装本等も展示致しました。その中で熱心にメモを取られ、何時間も閲覧されておられる方が見受けられたのも印象的でした。

以下、当日配布させて頂いたアンケートの集計結果をもとに報告致します。

アンケート結果

- (1)特に印象に残った展示物について
「古地図・浮世絵」が多数であった。
- (2)展示会を知ったきっかけについて
「案内ポスター（特に学内に掲示）」が多数であった。
（その他はゼミ等先生の推薦、後援会の案内、友人の誘いによるもの）
- (3)出品パンフレットの感想について
「展示の概略を知る上でわかりやすかった。」
「系統的に記述されている為、極めて見やすい。」等
- (4)今回の展示会全体について
「良かった」が多数であった。
- (5)今後の展示会に対する要望等について
「頻繁に催して欲しい。」
「開催期間を1週間に延長して欲しい。」
「とても良かった。また機会があれば来たいと思う。」等



平成14年度

夏期・総合図書館市民開放の実施結果について(報告)

本学図書館は「地域に根ざした大学」「生涯学習支援」の一環として図書館施設の市民開放を実施しました。
実施期間中の利用状況（結果）について報告いたします。

記

◎利用状況

開館日数 28日（8月2日～9月13日）

※市民利用者数（延べ） 368人（一日平均・13人）

本学利用者数（延べ） 3,842人（一日平均・137人）

総利用者数（延べ） 4,210人（一日平均・150人）

※市民利用者数内訳

一般 237人（卒業生24人）

学生 131人（高校生93人・専門学校生3人・大学生35人）

注（ ）内は内数です。

編集後記

子供の頃、まだ見ぬあふれる程の夢と希望とあこがれを与え、悩み多き思春期には、何にも替えがたき心の良薬となった。

歳を重ねるごとに、色あせ、手あかにまみれ、そこ、ここに線を引かれ端は折られても、知識や分別を与え、また生きる方向に迷った時、やすらぎや勇気を与え、心を癒した。

様々な「本」達は、静かにその必要とされるまで、確かな存在であり続けている。

(H.S)

図書館だより No.11

発行日 平成14年11月15日

編集・発行 大阪産業大学総合図書館

大阪府大東市中埦内3丁目1-1

Tel.072(875)3001(代表)

Fax.072(873)1664(直通)



この印刷物は、環境保護のため、エコマーク認定の再生紙を使用しています。

印刷・製本 (株) 藤井印刷店